

子供達にとって今住んでいる町内が大事な故郷なんです。お母さんは実家があって大事な思い出がある故郷だと思うんですが、今地域社会の連帯感が崩壊してきているんです。こんなところで健全な子供達が育つわけがないんじゃないかな。

実は、子供達のいい故郷を思い出を作ってあげるために、いい町内を作ってあげなければならないと思っているのは、親がPTAの役に付いている時だけだと思うんですね。

今私たちは町内を地域をどうするんだ、と言うところに目を向けないと、非行少年の問題行動が多様化してきて、どんな人間が出てくるか、どんな問題が起きるか分からないと言うことを私、校長の立場でこの頃感じているのであります。

時間になりましたので、話題提供と言うことで話させて頂きました。ありがとうございました。

#### 会員の声：「趣味の話パートⅡ」 大野新吉

前年度の会員の声で真冬で南海の熱帯魚（熱帯海水魚）の話をさせていただきましたが今回は真夏のそれも今迄体験した事のない今年の猛暑での南海の魚の話をさせていただきます。

5月末クラブ希望者で石垣島の川平湾で魚釣り、シュノーケルでの海中散歩をされた会員さんへご承知になったと思いますが、海の魚は自分達の思い通りの住みかを探して住んでいます。それは海水の温度、餌のとりやすいしかも身を守る住み家がある場所とか色々ありますが我がアクアリウムの魚は自分の好む諸条件に合ったところはありません。きめられたスペース、レイアウト、きめられた水温、水質、餌、すべて人間がコントロールするがまゝの中で不自由に暮らしております。特に水温は一般に適温は27℃～29℃位が良いとされていますし現に長い経験でもこの間の温度が良い結果が出ています。でも今年の夏は外気温35℃～36℃が2週間位も続き水槽の中は部屋に一日中クーラーをつけていても32℃～33℃位に上昇します。高温になりますと魚の動きや色艶も変化しますし餌喰いも悪くなります。これ以上の34℃～35℃位になりますと死ぬ魚も出て来ます。

温度を下げるのに氷を使ったり、一時的ですが水替をしたり夜中でもクーラーを酷使して水温を下げるのに気を使ってまいりましたが、最近になってようやく適温になる今日頃々となり、一応ホッとしている次第です。

前月の集中豪雨、そして雷での停電で部屋を水浸しにした苦い経験もありましたが「ちぎれ雲」にありました高齢化の脳軟化防止の為に動く魚を見ると言う行動（目を動かす）は脳の働きを良くして惚防止に非常に良く効くと言われているので誰が何と言おうともゴルフも車も？もそれ以上に35年も好きでやっていますので一生の趣味としてこれ位の贅沢をさせていただきたいと思っています。

会員の皆様是非脳軟化防止の為に我が家のアクアリウムへお出かけを!!冷たい飲物、おつまみも用意しておりますので!!

9月21日例会： I・M報告会

9月27日例会(月)： ガバナー公式訪問・3RC合同歓迎会

15:30点鐘 於ハミングプラザVIP

9月28日例会： 27日に例会日変更

10月5日例会： ライラ研修報告

10月12日例会： 職業奉仕月間（職場例会）三条東病院



## 三条北ロータリークラブ週報

ロータリー2000:  
活動は一堅実、  
信望、持続

|     |             |
|-----|-------------|
| 例会日 | 1999. 9. 14 |
| 累計  | No 623      |
| 当年  | No 10       |

国際ロータリー会長 カルロ・ラビツア 第2560地区ガバナー 高木貞一郎

会長／佐藤義英  
幹事／長谷川恵慈  
SAA／山中 正

例会日／火曜日 12:30～13:30  
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114  
事務局／三条市西四日町3-15-34  
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 青少年奉仕月間 卓話「非行少年は大人社会の歪み」

三条市立第二中学校長 吉川一男様

出席： 本日の出席 52名中 40名

先々週の出席率 52名中 45名 86.54%（前年同期90.38%）

先週のメイクアップ： 9月13日 新潟北RCへ 佐藤弘志さん

ビジター： 三条南RCより 鈴木園彦さん、野島廣一郎さん

ゲスト： 三条市立第二中学校長 吉川一男様

会長挨拶： 佐藤義英



御挨拶申し上げます。

本日はお客様に第二中学の吉川校長様、南クラブより野島さん、鈴木さんようこそいらっしゃいました。吉川校長様よりは後で卓話をお願い致しております。よろしくお願い申し上げます。

さて、9月は青少年奉仕月間となっておりますが1998年の手続要覧から青少年奉仕という言葉が消えて、3年前から青少年月間が「新世代のための月間」に変わっていて、当地区も青少年奉仕委員会から新世代奉仕委員会に名称変更する時期が来ているとの事です。くわしく

はガバナー月信9月号に載っておりますのでお読み頂きたいと思います。

「ちぎれ雲～いつか老人介護～」上映会、無事終了することが出来ました。本当に自分達の未来を見る様な気持ちでした。上映後各学校の生徒会長さんがわざわざお礼を言いに来られ、感激致しました。やってよかった。大成功と思った次第です。御協力頂いた会員皆様にあらためて御礼申し上げます。御苦勞様でした。

又、昨晩はロータリー財団、米山奨学の合同委員会が開かれました。そのうちに各委員会より皆様に寄付のお願いがあると思いますがよろしく御協力の程お願い申し上げます。



|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| 又、今晚はライラ研修のオリエンテーションが開かれます。参加されます落合会員の従業員の方々、よろしくお願いいたします。                   |
| 19日の日曜日にはI. Mがあります。参加の皆様方どうぞお忘れなく!!                                          |
| そして皆様もごぞんじの事と思いますが吉川会員のお母さんがなくなられました。今晚お通夜、あす告別式となっております。クラブより謹んでお悔やみ申し上げます。 |
| 幹 事 報 告： 長谷川幹事                                                               |
| ・国際ロータリーより 2000年7月1日より第2560地区を再編成することを正式に承認しました                              |
| 第2560地区 新潟県                                                                  |
| 第2840地区 群馬県                                                                  |

## 委員会報告：

|                |                                                                           |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 社会奉仕委員会        |                                                                           |
| 事業報告 二日間7回の上映会 |                                                                           |
| 感想として          | 「ちぎれ雲～いつか老人介護～」の終了報告                                                      |
| 反省として          | 2,000名の観客がそれぞれの考えを持って、そして皆様それぞれに問題提供したのではないかと思います。                        |
| 最後として          | 時間が無かったこと。                                                                |
|                | 皆様と一緒にになって老人福祉問題・老人介護のテーマで話し合い、事業に取り組めば、もっと熱が入り、全体のチケットも販売できたのではないかと思います。 |
|                | ロータリーを通じて奉仕が出来たことに、心から感謝し皆様に御礼申し上げます。                                     |

|           |                  |
|-----------|------------------|
| ニコニコボックス： | 14日現在累計 224,000円 |
|-----------|------------------|

|       |                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------|
| 佐藤義英君 | 「ちぎれ雲」上映会、御協力ありがとうございました。おかげ様で無事大成功で長谷川恵慈君          |
| 芦田義重君 | おわることができました。感謝!! 本日は吉川第2中学校長様卓話よろしくお願               |
| 今井克義君 | いいたします。                                             |
| 梨本清一君 | タツミ杯大変お世話になりました。スコアーは又100を切れなかったけどニギリ               |
| 齊藤正君  | で勝ち越しましたのでBOXへ                                      |
| 山口竜二君 | 第一回のタツミ杯コンペ楽しませていただきました。山口さんに感謝。                    |
|       | 感謝をこめて                                              |
|       | 吉川校長先生、卓話ありがとうございます。先生のお話しをこれからの青少年問題に生かしてゆきたいものです。 |
|       |                                                     |
|       | この度のコンペ皆様の協力有りがとう。16名分です。                           |

は心を開かない。そういう状況の中で、その子の場合は万引き・夜の徘徊ということで入れられてきたんですが、まっ本当に大人の責任なんだと言うことをつくづく感じました。

それまで私は非行少年は非行少年として生まれてくるものだと思っていました。絶対非行少年は先天的なものじゃなく、後天的なもの、その後の環境の中で生み出されるものだとつくづく感じました。

前話の面は溺愛型、後者の面は放任型の非行少年と言うことなんですが、陽性の犯罪と陰性の犯罪と分析してみたら、ああ言う非行少年と関わっている中で、まだ社会的に自分の反社会的な行動で訴え出れるのは、まだ救われると言いましょうか。例えば暴走族だとか対教師暴力だとか暴力的なのはまだ、本人自身救われていると。

ところがそれさえも出来ない非行少年、例えば自閉症だとか緘黙児・登校拒否というのは第三者は関わりようがないんですね。反社会的な行動すらすることのできない子供と言うのは関わるチャンスがない。ここにですね大きな違いがあると。

マザコンを簡単に言うと、乳児が幼児になって就学前までが家庭教育の躰となるわけですが、その前の排便とか御飯を食べるとか、やって良いのか悪いのかの基本的なことは母親が躰ているんですね。ですから子供の行動を見れば母親が分かるわけなんですね。だから、3才まで母親がしっかり躰ていないとならないわけなんです、それが普通なんです。ところがマザコンと言うのは、その後も子供の生活権を奪ってしまっ母親の価値観を子供に植え付ける。

実は私もその典型的だった面もあります。私は母子家庭で育ち、母親が命懸けで子供の躰にかかわるわけですが、このことが反抗期になると反社会的に出る可能性が非常に高いのです。

ですから暴力的な子供達に関わると、非常に女性的で優しくて繊細な神経を持っているのです。一般的に言わせると、ああいう子供達は排斥したがるものなんです、暴走族の後ろに乗っている女の子に言わせると「あの人は非常にいい人なんだよ」「優しいんだよ」と言う言葉が帰ってくると思うわけなんですね。

だから反社会的な青少年の裏には女性的なものがあると言うことが、私にとっては驚きました。グレートマザーと言うのは、人間本来の生命力があるわけなんです（ここに女性がいないので、気楽に言えるんですが）女性には女性本能があるんですね。身を呈して相手に捧げるという大切なことがある。実はこれが乳児期には本当に大切なことなんです、経済力のある女性は、子供本位で、お金で子供の我慢する力や生命力を包み込んでしまう恐れがあるのです。ですから登校拒否なんかの子供は弱いです。母性本能がつきまといますと生命力が弱いと言いますか。あれも女性（自分）自身、分断しないと本来の母親の姿になれないと。だから母子のつながりをブツ切ってやるのは、父親の大切な役割ではないかと思うわけなんです。

そんな勉強を非行少年からさせてもらって役に立ったなと、中学生の時代は子供から大人への橋渡しの時期ですから、非常に問題行動が多いですね。だからその問題行動をこっちが受け止めるかと言うことが、子供を生かすか殺すかに大切なことではないかと思っております。

これは社会教育的な発想だと自分で感じておりますけど、私は校長として一番心配しておりますのが、親の価値観が非常に多様化してきたことです。特に若い親が大変だなと。そして、大人を教育する場が無いことが非常に悔しく残念なんですね。